



真宗大谷派 存明寺通信

NO.187

2018年(仏歴2549年)11月2日発行

親鸞聖人の言葉  
しんらんじょうにん

あらすじよみくわみうわ



親鸞聖人

たんにしょう  
歎異抄

第13章



ぞんみょうじ  
存明寺HP、随時更新中 親鸞 であ  
親鸞と出遇うお寺

<http://www.zonmyoji.jp>

住職のコラム

出会いを求める人々

存明寺住職 酒井 義一

出会いを求める人々

保育士だった妻が、お寺を会場に「子育てサロン」という動きをはじめて四年が過ぎました。「いちごのへや」と名付けられたそのサロンは毎月一回開催され、子育て中の母親や乳幼児たちが集まっています。

参加者は毎回十組以上。予想よりも多くの方が参加されます。その背景には、核家族化が進み、ひとりで子育てをしている母親が増えているということ。それらの人々が子育て中の仲間や先輩たちとの出会いを求めているということがあります。若い母親たちとの会話の中で、時おり気になることもあります。

「私、この子がかわいいと思え

### 弱く狭く悲しい存在

ない時があるんです」絞り出すよ

うにそう語った方がおられました。

それはまるで、彼女の心の底から  
の叫び声のような気がしました。

妻はその母親に寄り添い、じつ

くりと話を聞きます。そして、自  
分の体験を相手に届けていきます。

人間は、自分の思い通りになら  
ない相手と出会うと、時に怒りを  
抱き、相手がまるで鬼のように見  
えてくることがあります。

### どこにも届かない声

警察は、昨年、虐待を受けてい

る児童相談所に通告した人数が、  
三万七〇二〇人であつたと発表し  
ました。大人が子どもに虐待をし  
てしまうことが、今や大きな社会  
問題となっています。

自分を表現する言葉を持たない  
幼い子どもたちが、暴力や暴言な  
どによって抑え込まれ、心身を傷  
つけられているのです。そして、  
時にいのちを奪していくのです。  
そこには切実な叫び声があつた  
はずです。声にさえならぬいうめ  
き声が響いていたはずです。

しかし、叫び声やうめき声はど  
こにも届くことはなく、無残にも  
踏みにじられてしまつたのでした。

持たず、弱くて、狭くて、悲しむ  
べき存在だったのです。

光に出会うということ。そして、  
光に照らされながら自らの闇を知  
るということ。そのことを大切に  
したいものです。

### 人間を深く悲しむ親鸞

わがこころのよくて  
ころさぬにはあらず

(歎異抄 第13章)

親鸞聖人の言葉です。親鸞聖人

は、自分の心がよいから人を殺さ  
ないのではなく、たまたま縁が熟  
していなから人を殺していない  
だけだ、と言われました。

「人を殺してはいけない」と言  
つたのではなく、私も縁さえ熟せ  
ば百人や千人もの人を殺してしま  
える人間である、と告白されたの  
です。

自分中心に一切のことを考え、  
相手を平気で傷つけ、しかもその  
ことに痛みすら感じないもの、人  
間。

親鸞聖人は、光に照らされなが  
ら、そのような人間存在を深く悲  
しまれました。そして「さるべき  
業縁のもよおせば、いかなるふる  
まいもすべし」(歎異抄 第13章)

※この文章は真宗大谷派高山教務  
所発行の『ひだご坊』2016年  
4月号に書いたものです。文中の  
数字はその当時のものです。

※子育てサロン「いちごのへや」は  
今年で6年目を迎え、毎月一回、  
親と子どもたちがお寺に集ま  
ってきます。その中から子ども食堂  
やこども会につながつていく人  
もおられます。



## 住職のおてら日記

### ■9月23日 秋のお彼岸法要

午前と午後に行われ、約百名の方々が参詣。この動きもだいぶ定着してきた。長島巖さん・竹谷タケ子さん・住職がお話を担当。今後もぜひ参詣を。

### ■9月29日 グリーフケア

19名が参加して行われた。それぞれの今を自分の言葉で語ることを大切にして。コーヒータイムなどもあり、ゆったりした、あたたかな時間が流れた。

### ■10月13日 樹心の会

34名が参加。最近は参加者が多い。以下お話のポイント。浮葉さん：学院時代に味わった「つらかった」こと。でも、そのことがあったから「阿弥陀仏に後ろから抱きしめられた」と感じることができた。住職：「災難をのがれための念仏ではない。どんなことが来ても引き受ける力が念仏である」



21名の小学生が参加。この日は寺町探検。途中の商店でお菓子を買って、大谷派・西蓮寺さんでおやつ。白山勝久副住職に子どもたちが質問タイム。

### ■10月24日 こども食堂

キーマカレーを毎月提供するこども食堂。お寺周辺の若い世代の人々の交流の場として、順調に進んでいます。79名が参加

報恩講法要に向けて仏具のおみがきと清掃奉仕のつどいが行われた。大勢の方々のご協力があつた。なごやかに作業した後は、みんなで一緒にお昼ごはん。準備段階から報恩講に参加できることがおみがきの醍醐味。ご協力ください。

### ■10月27日 おみがき

去る三月、但馬弘宗務総長や東京教務所長など大勢の僧侶が出仕して入仏法要が盛大に行われました。今まで長い間存明寺で人々を見つめ続けていた仏具たち、今後は施設関係者や収容者の方々をじつと照らし続けることでしょう。ここに謹んでご報告いたします。

なお当日の法話は、仏具を寄贈した存明寺住職が務めることとなり、ご本尊をお迎えする意義や人生をいねいに生きていくための数々の法話を紹介させていただきました。

## 存明寺の仏具が医療センターに



↑存明寺に伝承されていた仏具たち



↑大勢の僧侶による入仏法要。右端が住職です。

## 2018年 年内のお寺のひろば



■ 11月17日（土）13時半 樹心の会  
お話：羽田節子さん・酒井義一住職  
■ 12月8日（土）13時半 樹心の会  
お話：高橋昭彦さん・酒井義一住職

■ 12月15日（土）14時 グリーフケアのつどい  
内容：勤行・法話・語り合い・音楽鑑賞

## 2019年の元旦は…

■ 1月1日（火・元旦）10時 修正会

年のはじめはお寺でおまいり  
内容：正信偈の唱和・年頭法話・年頭感話

乾杯・書き初め・おしるい

※△家族おそろいでお参りください。  
※来年のカレンダーをプレゼントします。

## 2019年（平成31年）お寺のひろば

1月1日（火）

1月1日（火）10時 修正会

3月21日（木）14時 樹心の会

3月21日（木）11時と13時 春のお彼岸法要

4月13日（土）14時 樹心の会

4月27日（土）10時 おみがきのつどい

5月3日（金）12時 永代経法要

5月18日（土）14時 樹心の会

6月8日（土）14時 樹心の会

6月22日（土）14時 グリーフケアのつどい

7月6日（土）14時 新盆法要

7月13日（土）11時と13時 お盆法要

8月31日（土）午後 青年のつどい

9月7日（土）14時 樹心の会

9月23日（月）14時と13時 秋のお彼岸法要

9月28日（土）14時 グリーフケアのつどい

10月12日（土）14時 樹心の会

10月26日（土）10時 おみがきのつどい

11月2日（土）14時 報恩講法要

11月3日（日）12時 報恩講法要

11月9日（土）14時 樹心の会

12月14日（土）14時 樹心の会

12月21日（土）14時 グリーフケアのつどい

◎ぞんみようじいじいの会 月一回

◎ぞんみようじいじいの食堂 月一回

◎子育てサロンいわいのへや 月一回

【あとがき】  
真宗寺院の一年は、報恩講にはじまり  
報恩講におわると言われています。そ  
れだけ親鸞聖人の御命日法要の報恩  
講を大切にお勤めしてきたというこ  
とでしよう。

▼毎年のことですが、時間をかけて準備  
をします。講師のご依頼・ご門徒への  
案内・仏具のおみがき・仏華立て・料  
理の手配など…。報恩講は一日にして  
ならず、なのです。

▼でも、最後の準備が何よりも大切だ、  
と先輩から教わりました。それは、主  
催者である私が、ひとりの参詣者に立  
ち返り、我がこととして報恩講に出会  
うという姿勢を持つことだ、というこ  
とでした。

▼今年も一人ひとりのための報恩講が、  
おごそかに、にぎやかに行われます。  
(住職)



東京都世田谷区北烏山4-15-1

真宗大谷派 存明寺

住職 酒井 義一（釋諦信）

II-157-0061 TEL 03-3300-5057

FAX 03-3300-5880

E-mail : sakai@zonmyoji.jp